

- 小野寺宗伸・吉江由美子・鈴木健 2008. 湯通し塩蔵ワカメおよびコンブの高速塩漬方法の開発. 日本水産学会誌 74: 671-677.
- Ota, S., Matsuda, T., Yamazaki, T., Kazama, Y., Abe, T. & Kawano, S. 2013. Phenotypic spectrum of *Parachlorella kessleri* (Chlorophyta) mutants produced by heavy-ion irradiation. *Bioresour. Technol.* 149: 432-438.
- 三枝美穂・熊野芳明・塚田輝夫 2009. 気仙沼湾で継代養殖した対馬系ワカメ 6 世代の生長と形態特性. 宮城水産研報 9: 25-32.
- 佐藤陽一・阿部知子・福西暢尚 2017a. 三陸ワカメ養殖における品種改良と複数回養殖に関する技術開発. 竹内俊郎・佐藤實・渡部終五 (編) 水産学シリーズ 184. 新技術開発による東日本大震災からの復興・再生. pp. 53-66. 恒星社厚生閣, 東京.
- Sato, Y., Hirano, T., Hayashi, Y., Kasahara, M., Fukunishi, N., Abe, T. & Kawano, S. 2013. Effects of heavy-ion beam irradiation on sporophyte survival and growth in *Undaria pinnatifida*. *RIKEN Accel. Prog. Rep.* 47: 300.
- Sato, Y., Hirano, T., Ichida, H., Murakami, M., Fukunishi, N., Abe, T. & Kawano, S. 2017b. Morphological and physiological differences among cultivation lines of *Undaria pinnatifida* in a common garden experiment using a tank culture system. *J. Appl. Phycol.* 29: 2287-2295.
- Sato, Y., Hirano, T., Niwa, K., Suzuki, T., Fukunishi, N., Abe, T. & Kawano, S. 2016. Phenotypic differentiation in the morphology and nutrient uptake kinetics among *Undaria pinnatifida* cultivated at six sites in Japan. *J. Appl. Phycol.* 28: 3447-3458.
- Sato, Y., Hirano, T., Yamaguchi, M., Hayashi, Y., Fukunishi, N. & Abe, T. 2012. Effects of heavy-ion beam irradiation on gametophyte survival and sporophyte formation of *Undaria pinnatifida*. *RIKEN Accel. Prog. Rep.* 46: 267.
- 佐藤陽一・及川浩生・最上谷美穂ら 2017b. ワカメ配偶体の生長と成熟に対する光質, 光量ならびに水温の影響. 藻類 65: 60.
- 佐藤陽一・及川浩生・最上谷美穂ら 2018. ワカメ配偶体および胞子体の生長最適条件の検討と種苗生産技術への活用. 藻類 66: 63.
- Sato, Y., Yamaguchi, M., Hirano, T., Fukunishi, N., Abe, T. & Kawano, S. 2017a. Effect of water velocity on *Undaria pinnatifida* and *Saccharina japonica* growth in a novel tank system designed for macroalgae cultivation. *J. Appl. Phycol.* 29: 1429-1436.

(理研食品株式会社)

2018 年度藻類談話会のお知らせ

「藻類談話会」は藻類を研究材料とする幅広い分野の研究者の集まりで, 西日本を中心に講演会や研究交流を行っています。これまでの談話会の講演内容は, 藻類談話会ホームページ (<http://www.research.kobe-u.ac.jp/rcis-kurcis/danwakai/index.html>) でご覧いただけます。今年度は以下の講演を企画しています。ふるってご参加くださいますようお願い申し上げます。

日時: 2018 年 11 月 17 日 (土) 13:00-17:00

場所: 神戸大学理学部 Z 棟 2 階 Z-201/202 室 (神戸市灘区六甲台町 1-1)

研究報告 (敬称略)

星野雅和, 小亀一弘 (北大院・理学): 褐藻カヤモノリにおける寒流域での単為生殖系統の進化メカニズムとその進化的意義

講演 (敬称略)

遠藤光 (鹿児島大・水): コンブ目褐藻の摂食されやすさに対する無機環境の影響

河地正伸 (国立環境研・生物・生態系環境セ): 海底鉱物資源開発と海洋環境保全の両立に向けた取り組み

高村典子 (国立環境研・琵琶湖分室): 日本における湖沼の生物多様性評価や生態系保全のための研究の動向とその課題

参加費: 300 円。談話会終了後, 理学部生物学科セミナー室 (C-218) で懇親会を行います (会費: 一般 3,000 円, 学生 1,500 円)。談話会および懇親会の参加希望者は 11 月 7 日 (水) までに電子メールかファックスで下記の宛先へお申し込みください (当日参加も可)。

会場への交通: 阪急「六甲」駅から徒歩約 15 分。阪神「御影」駅, JR「六甲道」駅, 阪急「六甲」駅から神戸市バス 36 系統鶴甲団地行, 鶴甲 2 丁目止まり行きに乘車, 「神大文理農学部前」下車。交通アクセス・キャンパスマップ (<http://www.sci.kobe-u.ac.jp/access/index.htm>) にも掲載されています。

参加申込み・問い合わせ先

京都大学大学院人間・環境学研究科 幡野恭子
〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町

FAX: 075-753-2957 e-mail: sourui_danwakai@yahoo.co.jp